

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和元年度事業 点検・評価調書

4-II-5

4-II-5

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	見学ルートの作成・発信
節	II. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	5 見学モデルルートの構築	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	県文化行政課、佐渡市観光振興課
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○資産内における適切な見学ルート(モデルコース)の構築により、来訪者への各構成資産の適切な理解を促す。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○①来訪者が理解しやすいストーリー作り、②ストーリーに合わせた見学ルートの整備、③見学ルートに係る情報提供を実施する。また、運用開始後も来訪者ニーズに合わせて更新を検討する。</p>		
R元事業計画と実績	<p>【元年度計画】</p> <p>●史跡整備基本計画及び文化的景観(相川地区)の整備計画の策定作業のなかで、整備方針に基づくモデルコースの内容について検討する。</p> <p>【元年度実績】</p> <p>●史跡及び文化的景観の整備基本計画策定に向けて、史跡や文化的景観を見学するためのモデルコース内容を検討した。</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <p>■誘導サイン等の設置や国・県・市道、トイレ等の受入体制整備を併せて行う必要があり、今後も県・市の連携した取組が必要である。</p> <p>■モデルルートをより多くの来訪者に利用してもらうため、各種媒体や現地見学会等を利用した情報発信が必要である。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>■史跡整備基本計画に基づき、上相川や五社屋山地区等の見学ルート上に解説・誘導サイン等を設置し、整備完了後、きらりうむ佐渡等や各種情報媒体においてモデルコースの周知を図る。</p> <p>■見学ルート上の定期的な樹木伐採等を行う。</p> <p>■計画的なサイン設置に向けて、事業予算の確保に務める。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】</p> <p>[ a (b) c ]</p> <p>◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。</p> <p>【事業実施の効果】</p> <p>[ a (b) c ]</p> <p>【総合評価】</p> <p>[ A (B) C ]</p>		

- a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

- A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。